

第24回 苫小牧市公共交通協議会【要旨】

日 時 : 令和3年3月26日(金) 13時30分～

場 所 : 苫小牧市役所 職員会館 304号室

出席者: 下夕村委員(会長)、木村委員(副会長)、柴田委員(道南バス)、吉田委員(あつまバス)、金山委員(JR北海道)、福田委員(胆振総合振興局: 水井委員代理)、足立委員(室蘭建設管理部)、葛西委員(苫小牧警察署: 堺委員代理)、重本委員(老人クラブ連合会)、山端委員(町内会連合会)、澤田委員(社会福祉協議会)、佐藤委員(総合経済高校) 遠藤委員(商工会議所)、森委員(公募) 橋根委員(公募)

《報告事項》

報告第1号: 苫小牧市公共交通協議会要綱の改正について

- ・ 令和2年11月27日施行「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」により、「地域公共交通網形成計画」が「地域公共交通計画」と名称変更されたことに伴い、苫小牧市公共交通協議会の要綱を改正。

報告第2号: 令和2年度予算の流用について

- ・ 前回の第23回苫小牧市公共交通協議会開催に伴う旅費の支出において、予算の不足が発生したため、報償費から予算流用。なお、本日の第24回協議会における旅費も含めて流用。

《協議事項》

議案第1号: 市内路線バス令和3年度ダイヤ改正(案)について

- ・ 4月1日からのダイヤ改正の内容について、通勤通学時間帯に係る運行時刻の見直し、同一方面への重複時間帯運行の解消、利用の少ない時間帯での運行便の集約などを予定しており、全体としては運行本数の減便。

→ 道南バス(株)から、コロナ影響下により、市内路線バスについて昨年4月のダイヤ改正後すぐに減便し特別ダイヤを運行してきたが、今回はそれを見直し、ある程度の本数を確保し、市民の通勤、通学等の路線が確保されるよう実施していく旨説明。また、都市間バスの減便についても説明。

→ 利用者減少による減便、統合を危惧する意見に対し、道南バス(株)から、利用の少ない便の精査や時間帯の見直しについて理解を求める旨、また、利便性向上について

色々と課題があることは承知しているが利用促進も検討していきたい旨説明あり。

議案第2号：令和3年度樽前予約運行型バス運行計画（案）について

- ・ 今年度と同様の運行便数、ダイヤ、経路で運行し、運行計画期間は、令和3年4月1日から令和4年3月31日まで。
- ・ ダイヤについて、現在は、土日祝日ダイヤに小学校の登下校の時間に合わせ追加で運行していたが、4月1日からは平日ダイヤでの運行。
- ・ 市内路線バスについても、同日から平日は平日ダイヤで運行し、現在の土日祝日ダイヤと平日特別便での運行は3月31日をもって終了。

議案第3号：苫小牧市地域公共交通計画（案）について

- ・ パブリックコメントを3月30日から実施予定。計画素案に対する協議会委員の意見を踏まえ計画案を作成し、今回の協議を経てパブリックコメントを実施。
- ・ 前回の素案では、施策の方向性について、本計画における実際の施策とずれが生じており、また、サービス向上、利便性向上に向けた対策について具体性に欠ける部分があった。今回の案では、施策の方向性を「利用促進・利便性向上、バス路線の効率化、乗り継ぎ負担の軽減」の3点とし、路線の見直しによる運行の効率化を図ることや、それに伴い発生する乗り継ぎ負担に対する軽減策として、ダイヤ調整、乗り継ぎ割引の取組を行うなど、具体的な方向性として記載。
- ・ 本計画における基本理念「将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成」について、公共交通サービスの維持・向上のため利便性向上のほか、事業としての効率性も考慮した上で、利便性と効率性のバランスのとれた対策が必要との内容を説明。
- ・ 施策について、取組内容と実施時期について具体的に記載。
- ・ 前回協議事項「利用満足度」の指標について、「1便当たりの平均乗車人数」と修正。

→ 中間見直しがあるのか、地区の状況把握のやり方なども見直しで変えてはどうかとの意見があり、毎年1年ごとに計画の進捗状況や状況変化も確認しながら、協議会の場で図り、都度必要に応じ見直しや修正を行っていくことを説明。

→ 具体的なスケジュールについて質問があり、以下につき説明。

- ・ 新たなモビリティサービスの導入に関する調査研究について、導入などを見据えた構想を目指し、まずは協議の場を来年度以降早く設置した上で、他都市の実証試験や調査研究を踏まえ、苫小牧市に合った構想を進めていきたい。
- ・ 苫小牧駅前の再整備について、今現在、旧バスターミナル廃止の代替案として、駅前でバスの乗り降りができるようになっているため、まずはそれを継続して利便性も可能な範囲で上げていく施策をしていきたい。
- ・ バスロケーションシステム導入について、令和3年度に運用開始予定、現在バス

の位置情報をきちんとシステムで捉えることができるかという調整を行っている。

⇒ 協議事項について、すべて原案どおり承認

以上